

令和4年度

笠岡市水道事業会計

決算概要



笠岡市上下水道部水道課

★業務量

事 項	単位	令和3年度 決算	令和4年度 決算	比較増減	
				増減	率
計画給水人口	人	65,000	65,000	0	100.0
年度末給水人口	人	45,540	44,846	△ 694	98.5
年度末給水戸数	戸	21,593	21,562	△ 31	99.9
計画給水人口に対する普及率	%	70.1	69.0	△ 1.1	98.5
年間総配水量	m ³	5,155,845	5,039,636	△ 116,209	97.7
1日最大配水量	m ³	15,631	15,505	△ 126	99.2
1日平均配水量	m ³	14,126	13,807	△ 319	97.7
1人1日最大配水量	リットル	343	346	3	100.9
1人1日平均配水量	リットル	310	308	△ 2	99.4
年間給水量(有収水量)	m ³	4,621,350	4,537,144	△ 84,206	98.2
有収率	%	89.6	90.0	0.4	100.4

- ・年度末における給水人口は44,846人で、前年度に比べ694人減少し、行政区域内人口に対する普及率は、99.0%となりました。
- ・有収水量は4,537,144m³で、前年度に比べ84,206m³の減少となり、有収率は、前年度より0.4ポイント上昇し、90.0%となりました。

★決算概要

◆収益的収支

(金額単位:円, 税抜き)

年 度	収益的収入	収益的支出	当年度純利益
令和4年度	1,303,726,896	1,200,468,132	103,258,764
令和3年度	1,286,679,062	1,119,241,590	167,437,472
差 引	17,047,834	81,226,542	△ 64,178,708

令和4年度笠岡市水道事業会計決算では、収益的収入が約13億373万円となり、前年度に比べ約1,705万円の増収となりました。また、収益的支出は約12億47万円で、前年度に比べ約8,123万円増加しました。この結果、約1億326万円の当年度純利益を計上しました。

◆資本的収支

(金額単位:円, 税抜き)

年 度	資本的収入	資本的支出	差 引 額
令和4年度	710,134,347	950,143,635	△ 240,009,288
令和3年度	366,216,140	697,247,804	△ 331,031,664
差 引	343,918,207	252,895,831	91,022,376

資本的収入が資本的支出に不足する額、約2億4,001万円(税抜き)は、水道事業会計の内部に留保している資金で補てんしました(減債積立金2,800万円、建設改良積立金2億円及び過年度分損益勘定留保資金1,201万円で補てん)。

★損益計算書(経営成績)

損益計算書は、1事業年度中に得た全ての収益と、これに対応する全ての費用を記載し、経営成績を明らかにするための報告書です。

(金額単位:円, 税抜き)

	令和3年度	令和4年度	差引額	備考
1 営業収益	1,106,071,425	1,094,651,669	△ 11,419,756	[1]
(1) 給水収益	1,069,680,580	1,055,266,450	△ 14,414,130	
(2) その他の営業収益	36,390,845	39,385,219	2,994,374	
2 営業費用	1,095,362,018	1,146,111,812	50,749,794	[2]
(1) 原水費	515,853,600	505,221,495	△ 10,632,105	
(2) 配水及び給水費	165,379,705	228,774,383	63,394,678	
(3) 総係費	116,341,980	114,026,349	△ 2,315,631	
(4) 減価償却費	287,074,004	287,800,372	726,368	
(5) 資産減耗費	10,712,729	10,289,213	△ 423,516	
営業利益	10,709,407	△ 51,460,143	△ 62,169,550	[3]=[1]-[2]
3 営業外収益	180,571,577	205,937,800	25,366,223	[4]
(1) 受取利息	229,025	367,970	138,945	
(2) 他会計補助金	2,127,446	7,320,454	5,193,008	
(3) 長期前受金戻入	147,513,719	146,681,784	△ 831,935	
(4) 雑収益	30,701,387	51,567,592	20,866,205	
4 営業外費用	23,525,790	53,360,319	29,834,529	[5]
(1) 支払利息	3,500,026	3,707,159	207,133	
(2) 雑支出	20,025,764	49,653,160	29,627,396	
経常利益	167,755,194	101,117,338	△ 66,637,856	[6]=[3]+([4]-[5])
5 特別利益	36,060	3,137,427	3,101,367	[7]
(1) 過年度損益修正益	36,060	660,990	624,930	
(2) その他特別利益	0	2,476,437	2,476,437	
6 特別損失	353,782	996,001	642,219	[8]
(1) 過年度損益修正損	351,782	618,623	266,841	
(2) その他特別損失	2,000	377,378	375,378	
当年度純利益	167,437,472	103,258,764	△ 64,178,708	[9]=[6]+([7]-[8])

・収益は、営業収益・営業外収益・特別利益に分類されます。

・**営業収益**は、主たる営業活動から生じる収益をいい、水道事業においては、水道料金収入が96.4%を占めています。**営業外収益**は、預貯金から生じる受取利息や他会計補助金等に加え、長期前受金戻入(固定資産の減価償却費のうち、その固定資産の取得費に充てた自己資金以外(補助金・工事負担金など)の金額に相当する額)が計上されます。**特別利益**は、当年度の経常的な損益計算に算入されない過年度損益修正益(過去の収益の修正など)等があります。

・費用は、営業費用・営業外費用・特別損失に分類されます。

・**営業費用**は、主たる事業活動のため生じる費用で、笠岡市の場合、後述の水道事業費用内訳のとおりで、受水費(岡山県西南水道企業団から購入する浄水の費用)が44.1%を占めています。**営業外費用**は、借入金の支払利息等です。**特別損失**は、事業の通常の経営に伴うものでなく、過年度損益修正損(過去の費用の修正、臨時損失など)等があります。

★貸借対照表(財産状態)

貸借対照表は、年度末の3月31日における資産・負債・資本を総括的に表示し、資金の運用形態(資産の部)とその調達源泉(負債・資本の部)を対称表示して財産の状態を明らかにする報告書です。

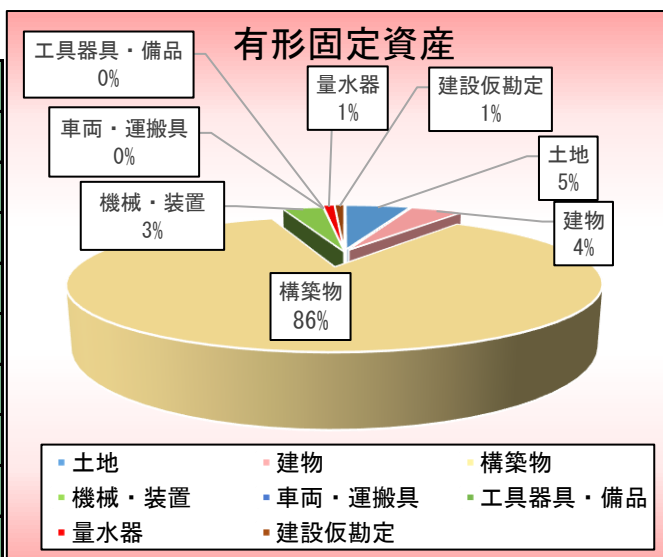
◆資産の部		◆負債の部	
1 固定資産	8,473,356,245	3 固定負債	762,393,952
(1)有形固定資産	8,135,065,037	(1)企業債	673,280,306
(2)無形固定資産	308,291,208	(2)引当金	89,113,646
(3)投資	30,000,000	4 流動負債	722,784,465
2 流動資産	2,321,764,206	(1)企業債	25,291,984
(1)現金預金	1,567,960,148	(2)未払金	595,850,003
(2)未収金	690,931,947	(3)引当金	7,920,000
(3)貯蔵品	9,016,521	(4)その他流動負債	93,722,478
(4)前払金	53,855,590	5 繰延収益	3,453,908,260
資産合計	10,795,120,451	(1)長期前受金	8,383,338,202
		(2)長期前受金収益化累計額	△ 4,929,429,942
		負債合計	4,939,086,677
		◆資本の部	
		6 資本金	4,599,693,719
		(1)自己資本金	4,599,693,719
		7 剰余金	1,256,340,055
		(1)資本剰余金	651,707,564
		(2)利益剰余金	604,632,491
		資本合計	5,856,033,774
		負債資本合計	10,795,120,451

※ 資産合計と負債資本合計は、常に一致します。

◆有形固定資産明細

(金額単位：円)

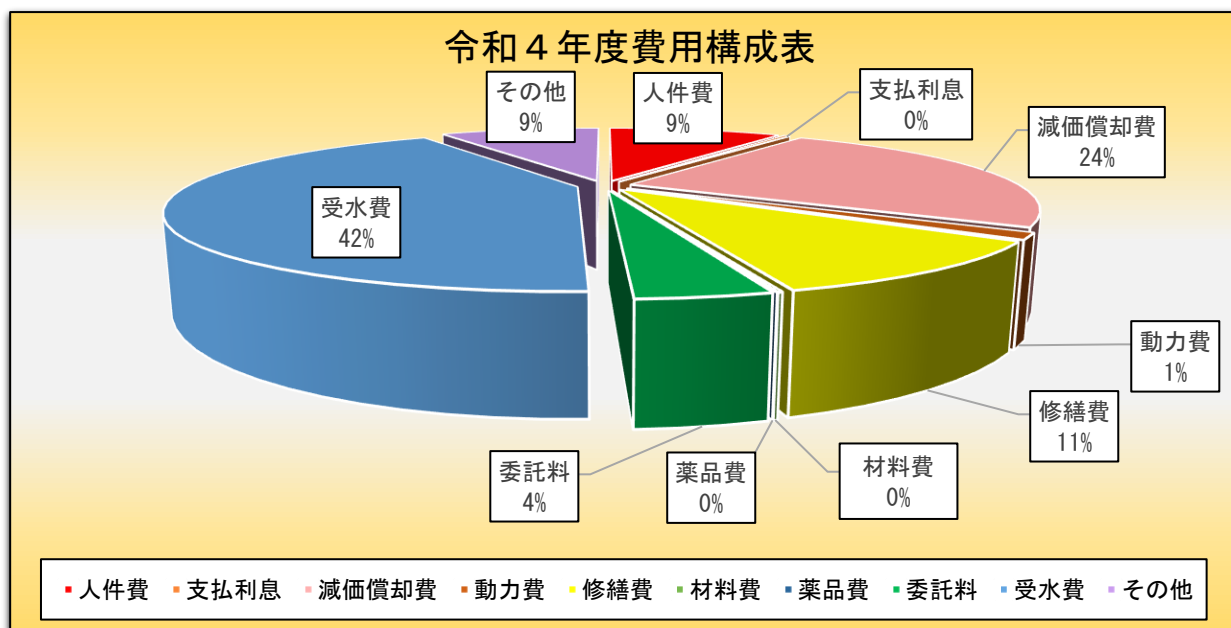
資産の種類	年度末償却未済高
土地	428,004,568
建物	348,236,278
構築物	6,949,202,189
機械・装置	268,226,461
車両・運搬具	2,160,746
工具器具・備品	2,912,890
量水器	74,203,905
建設仮勘定	62,118,000
合計	8,135,065,037



◆水道事業費用内訳

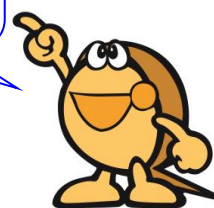
表示単位(金額:千円,割合:%)

区分	令和3年度		令和4年度		比較増減	
	金額	割合	金額	割合	金額	前年比
人件費	118,780	10.6	111,392	9.3	△ 7,388	93.8
支払利息	3,500	0.3	3,707	0.3	207	105.9
減価償却費	287,074	25.6	287,800	24.0	726	100.3
動力費	14,223	1.3	15,474	1.3	1,251	108.8
修繕費	77,836	7.0	124,843	10.4	47,007	160.4
材料費	953	0.1	1,635	0.1	682	171.6
薬品費	147	0.0	167	0.0	20	113.6
委託料	36,060	3.2	47,477	4.0	11,417	131.7
受水費	515,854	46.1	505,222	42.1	△ 10,632	97.9
その他	64,815	5.8	102,751	8.5	37,936	158.5
合計	1,119,242	100.0	1,200,468	100.0	81,226	107.3



- ・人件費は、職員の給料や法定福利費等です。
- ・支払利息は、水道施設を建設するために借り入れた資金の利息です。
- ・減価償却費は、水道施設を使用することによって発生する資産価値の減価分の費用です。
- ・動力費は、市民のみなさんに水を送り届けるために必要なポンプの電気代です。
- ・材料費は、施設設備等の修繕用資材の費用です。
- ・薬品費は、水をきれいにするための薬品代です。
- ・受水費は、岡山県西南水道企業団から購入する水道水の代金です。

笠岡市は、費用構成の内、約4割が浄水の購入費（受水費）です。



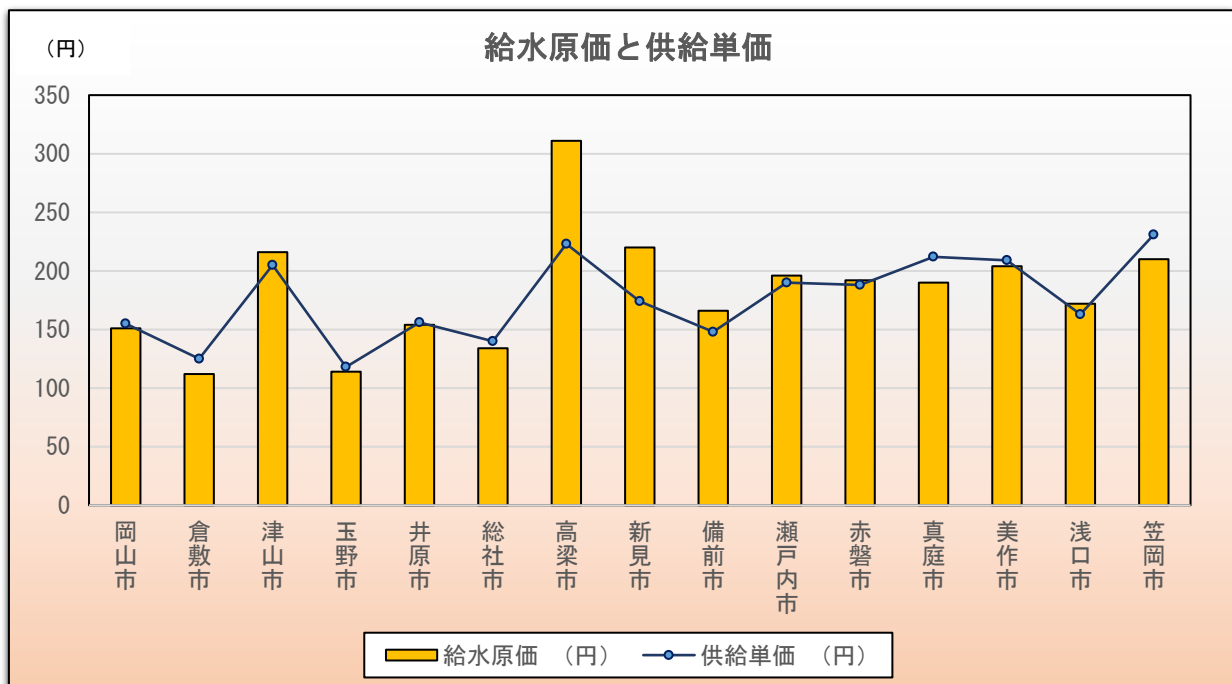
◆岡山県内15市の給水原価と供給単価（令和3年度）

	供給単価 (円)	給水原価 (円)	差引額 (円)
岡山市	155	151	4
倉敷市	125	112	13
津山市	205	216	△ 11
玉野市	118	114	4
井原市	156	154	2
総社市	140	134	6
高梁市	223	311	△ 88
新見市	174	220	△ 46
備前市	148	166	△ 18
瀬戸内市	190	196	△ 6
赤磐市	188	192	△ 4
真庭市	212	190	22
美作市	209	204	5
浅口市	163	172	△ 9
笠岡市	231	210	21
笠岡市 令和4年度	233	232	1

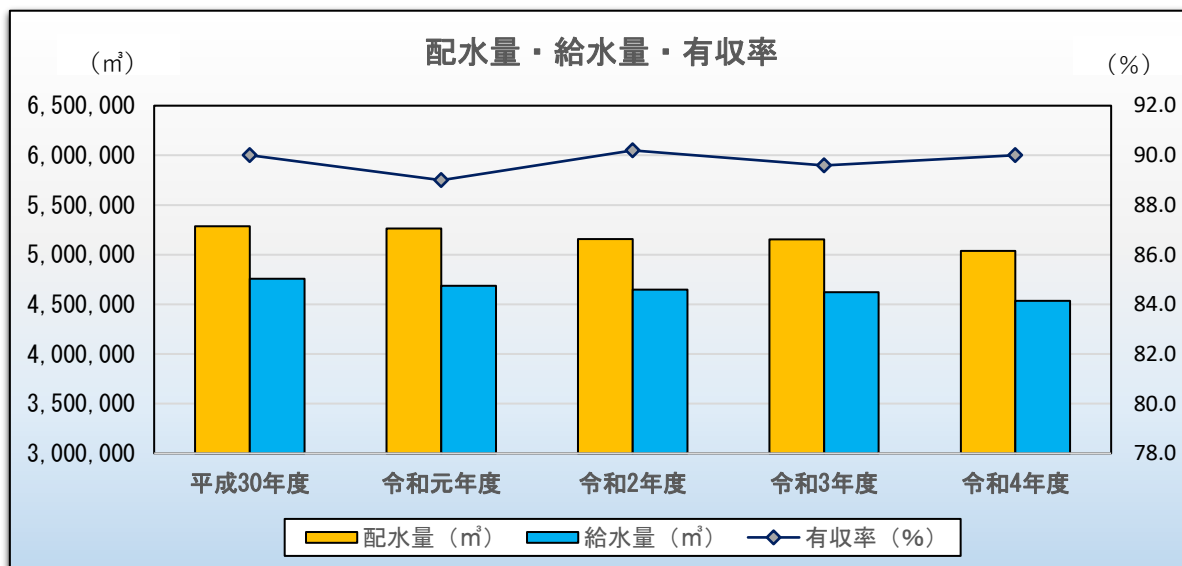
この数値は、岡山県がホームページで公表している「岡山県水道の現況」より抜粋したものです。

「供給単価」は、みなさんからいただいた水道料金の水道水 1 m³当たりの平均単価を表しています。

「給水原価」は、1 m³当たりの水道水をみなさんにお届けするために必要な経費を表しています。



◆配水量・給水量・有収率の推移



区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
配水量 (m³)	5,286,135	5,265,320	5,157,772	5,155,845	5,039,636
給水量 (m³)	4,757,315	4,686,670	4,649,867	4,621,350	4,537,144
有収率 (%)	90.0	89.0	90.2	89.6	90.0

※有収率とは、年間配水量（岡山県西南水道企業団から購入した水量）に対する、年間給水量（料金収入があった水量）の割合で、100%に近いほどよい。

※令和2年度の有収率は新型コロナウイルス対策として収益とならなかった基本料金部分の免除水量を含めた値

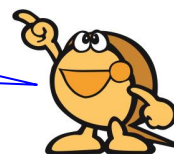
◆岡山県内15市の有収率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
岡山市	90.5	90.3	91.0	91.0
倉敷市	92.4	93.0	92.9	93.3
津山市	85.0	86.3	87.0	88.8
玉野市	91.8	91.9	92.0	91.1
井原市	84.3	84.7	86.5	85.2
総社市	89.1	89.2	89.2	89.1
高梁市	71.8	80.3	80.4	72.6
新見市	87.3	86.5	82.2	82.1
備前市	75.5	75.0	74.3	78.9
瀬戸内市	83.2	78.8	80.4	78.8
赤磐市	88.1	86.9	88.0	87.9
真庭市	82.4	83.4	83.3	84.8
美作市	74.8	75.1	67.3	69.6
浅口市	92.5	92.0	91.3	91.7
笠岡市	90.0	89.0	90.2	89.6
県内15市平均	85.2	85.5	85.1	85.0

◆重要指標の目標達成状況

	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和11年度 目標	備考
安全 安全でおいしい水の供給 水質基準不適合率	0.0%	0.0%	0.0%	○達成
強靱 水道施設の耐震化 基幹配水池の耐震化率	100%	100%	100%	○達成
強靱 水道施設の耐震化 基幹管路の耐震適合率	22.4%	27.4%	30.0%	
強靱 水道施設の計画的な更新 老朽管の更新 管路の更新率	0.72%	1.62%	0.80%	○達成
持続 事業運営の効率化 有収率	89.6%	90.0%	92.0%	
持続 事業運営の効率化 料金回収率(供給単価/給水原価)	110.12%	100.23%	100%以上	○達成
持続 事業運営の効率化 企業債残高対給水収益比率	34.19%	66.20%	350%以下	○達成
持続 事業運営の効率化 給水人口1人当たり企業債残高	8,031円/人	15,577円/人	52,000円/人 以下	○達成
持続 事業運営の効率化 資金(現金・預金)残高	15.9億円	15.7億円	7億円以上	○達成
持続 事業運営の効率化 資金残高対給水収益比率	148.87%	148.58%	70%以上	○達成

今後も適切な借金(企業債)残高と自己資金水準のバランスを考慮しながら、着実に施設の耐震化と有収率の向上を目指していく目標です。



本市の水道事業は、経費の節減と給水サービスの向上に努め、安定した経営に取り組んできました。しかし、人口減少や節水機器の普及等による有収水量の減少に伴い、水道料金収入が減少傾向にあります。一方で、水道施設の老朽化が進行しています。

このような状況を捉え、平成28年度に水道事業ビジョン(令和2年度に見直し)、平成29年度に水道施設の中長期更新計画、令和2年度に水道事業経営戦略を策定し、これらの計画に沿って水道施設の更新を進めています。今後も引き続き着実に老朽施設の更新に取り組んでいきます。また、施設の更新投資費用を踏まえた収支均衡の維持、安定経営に必要な資金の確保と将来世代の負担に留意した借金残高の推移を注視し、持続可能な健全経営を行います。

今後も、ライフラインとしての水道事業の重要性を深く自覚し、「市民のための水道を未来へ」の基本理念の下、安心・安全な水を安定的に継続して供給できるよう、着実に事業運営に取り組んでいきます。